

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	日本語学習ボランティア支援事業					
担当部署・課長名	地域振興	課	市民協働	係	課長名	大法 努

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	5 - 4	-
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立	総合計画書 (ページ)	113	

予算名	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	12	地域振興費	事業	3	国際交流事業
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	----	-------	----	---	--------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 日本語学習ボランティア	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 日本語学習ボランティア教室(3グループ)でボランティアを行なっている人数(年度当初の日本語ボランティア人数)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①日本語の話せない外国籍住民に対し、継続して学習ボランティア活動を行うとともに、日本語指導スキルが向上することを目指す。 ②新規ボランティアの獲得	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①日本語学習ボランティア教室(3グループ)でボランティアを行なっている人数 ②年度途中でボランティア登録した人数
	③ そのために何をしましたか。 ①ボランティア保険の加入 ②日本語学習ボランティアを対象とした初級・中級講座開催 ③市民を対象にボランティア説明会の開催 ④日本語ボランティア教室に対し、日本語教材の貸与 ⑤日本語ボランティア教室の部屋の確保 ⑥日本語ボランティア教室のPR(市報掲載、パンフレットの配布)	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①随時 ②初級講座・中級講座各1回づつ ③年1回 ④年1回希望教材の貸与 ⑤年間活動日の公共施設の予約 ⑥市報掲載、パンフレットの配布

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	44	46			
	成果指標	②の数値	人	①44 ②1	①46 ②0			
	目 標	②の目標値	件				50	50
		目標値設定の考え方	行政サービスにて通訳を利用する、予算措置された件数					
活動指標	③の数値	件		①1②1 ③1④1	①1②1 ③1④1			

3 経費	事業費(実績)		円	87,188	89,728	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	87,188	89,728	
		特定財源	円	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.20	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	1,650,600	1,648,800		
	職員人件費(再任用)	円	0	0		
	事業費+人件費	円	0	1,737,788	1,738,528	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 市の区域内で日本語が話せない外国籍住民に日本語を教えているボランティアグループに対して、各種支援を行う。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 出身国割合の変化及び多国籍化。日本語学習ボランティアの高齢化。

仕事の内容	日本語学習ボランティア支援事業					
担当部署・課長名	地域振興	課	市民協働	係	課長名	大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者（外国人）の参加に波があり、読めない。平成30年度は学習者が全体的に少なかった。</li> <li>・ボランティアが高齢化してきており、若いボランティアが少なく、引き継げない。</li> <li>・様々な母国語の外国人の学習者が増えた。</li> </ul>

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法 ①、⑤、⑥、⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 特になし。	

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート「7 課題（2）」の内容 ボランティアグループの自主性を確保しながら、継続して外国人を支援できるよう、グループを引き続き支援していく。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 引き続き各支援を継続した。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 新たなボランティアの担い手の発掘。

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 引き続き各支援を続けるとともに、ボランティアとなりえそうな通訳交流員へPRを行ってみる。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
	成果	成果を維持する。	経費